

北海道新産の帰化植物ヒロハウキガヤ (イネ科)

内田暁友

099-4113 北海道斜里郡斜里町本町 49, 斜里町立知床博物館

Glyceria fluitans (Poaceae) Newly Naturalized in Hokkaido

UCHIDA Akitomo

Shiretoko Museum, 49-2 Hon-machi, Shari, Hokkaido 099-4113, Japan. akitomo-u@apost.plala.or.jp

ヒロハウキガヤ *Glyceria fluitans* (L.) R. Br. はヨーロッパの湿地に自生するイネ科多年生草本で、日本では宮城県仙台市で 1988 年に初めて帰化植物として採集され (庄子・浅野 1991), 西アジア, 北アメリカ, オーストラリアにも帰化している (竹松・一前 1997).

著者は 2007 年 7 月に北海道斜里町の農業排水路で見慣れないドジョウツナギ属 *Glyceria* を採集した。標本を検討した結果、北海道ではこれまで記録のない帰化植物であるヒロハウキガヤであったので報告する。

採集地は斜里平野の標高約 5 m の畑作地帯で、河床、河岸ともにコンクリートで覆われた、流れの緩やかな排水路に群生していた (Fig.).

採集した植物は、稈の基部が発根しつつ水中をはって高さ約 1 m に達し、葉身は幅が 6–9 mm, 葉舌は長さ約 5 mm, 円錐花序は垂れ下がって枝は 1–3 本ずつだし、小穂は長さ 18–28 mm で 7–13 小花からなり円柱状、外花穎と内花穎はほぼ同長で 6–7 mm, 外花穎先端部は膜質で全縁、鋭頭であった。これらの形質は Holub (1980), 木場 (2003), Barkworth & Anderton (2007) などに記載された本種の変異内であった。

本種は長さ 20 mm 以上になる円柱状の小穂をもつのが特徴的だが、日本産ドジョウツナギ属でこのような小穂をもつものにはムツオレグサ *G. acutiflora* Torr., ヒメウキガヤ *G. depauperata* Ohwi, および北米原産の帰化植物セイヨウウキガヤ *G. occidentalis* (Piper) J. C. Nelson の 3 種が

知られている。ムツオレグサは内花穎が外花穎より明らかに長いことで、ヒメウキガヤは外花穎先端が鈍頭で葉身の幅 2–4 mm であることでヒロハウキガヤから区別できる。またセイヨウウキガヤは本種と北米に自生する *G. leptostachya* Buckley との雑種とされ (Barkworth & Anderton 2007) 最も近縁であるが、外花穎がより小さく長さ 6 mm 以下で、先端部がやや浅裂するか不規則に円鋸歯状に切れ込むことでヒロハウキガヤから区別できる (Barkworth & Anderton 2007)。

本報告をまとめるにあたって北海道野生植物研究所の五十嵐博氏と北海道大学総合博物館の高橋英樹教授には文献の紹介および有益な助言を頂いた。ここに記して謝意を表す。

採集標本

北海道, 網走支庁: 北海道斜里郡斜里町字豊倉, 東五線南五号, 標高約 5 m, 2007 年 7 月 10 日, 内田暁友 2307, SAPS 010596.

引用文献

- Barkworth M. E. & Anderton L. K. 2007. *Glyceria* R. Br. in: Barkworth M. E., Capels K. M., Long S., Anderton L. K. & Piep M. B. (eds), Flora of North America north of Mexico 24. pp. 68–88. Oxford University Press, New York.
- Holub J. 1980. *Glyceria* R. Br. in: Tutin T. G., Heywood V. H., Burges N. A., Moore D. M., Valentine D. H., Walters S. M. & Webb

D. A. (eds.), *Flora Europaea* 5. pp. 179–181. Cambridge University Press, Cambridge.

木場英久. 2003. コメガヤ連 Trib. Meliceae. 清水建美 (編), 日本の帰化植物. p. 252. 平凡社, 東京.

庄子邦光・浅野修. 1991. 宮城県高等植物分布資料 1. 東北植物研究 7: 33–36.

竹松哲夫・一前宣正. 1997. 世界の雑草 3—单子葉類一. viii + 1057 pp. 全国農村教育協会, 東京.

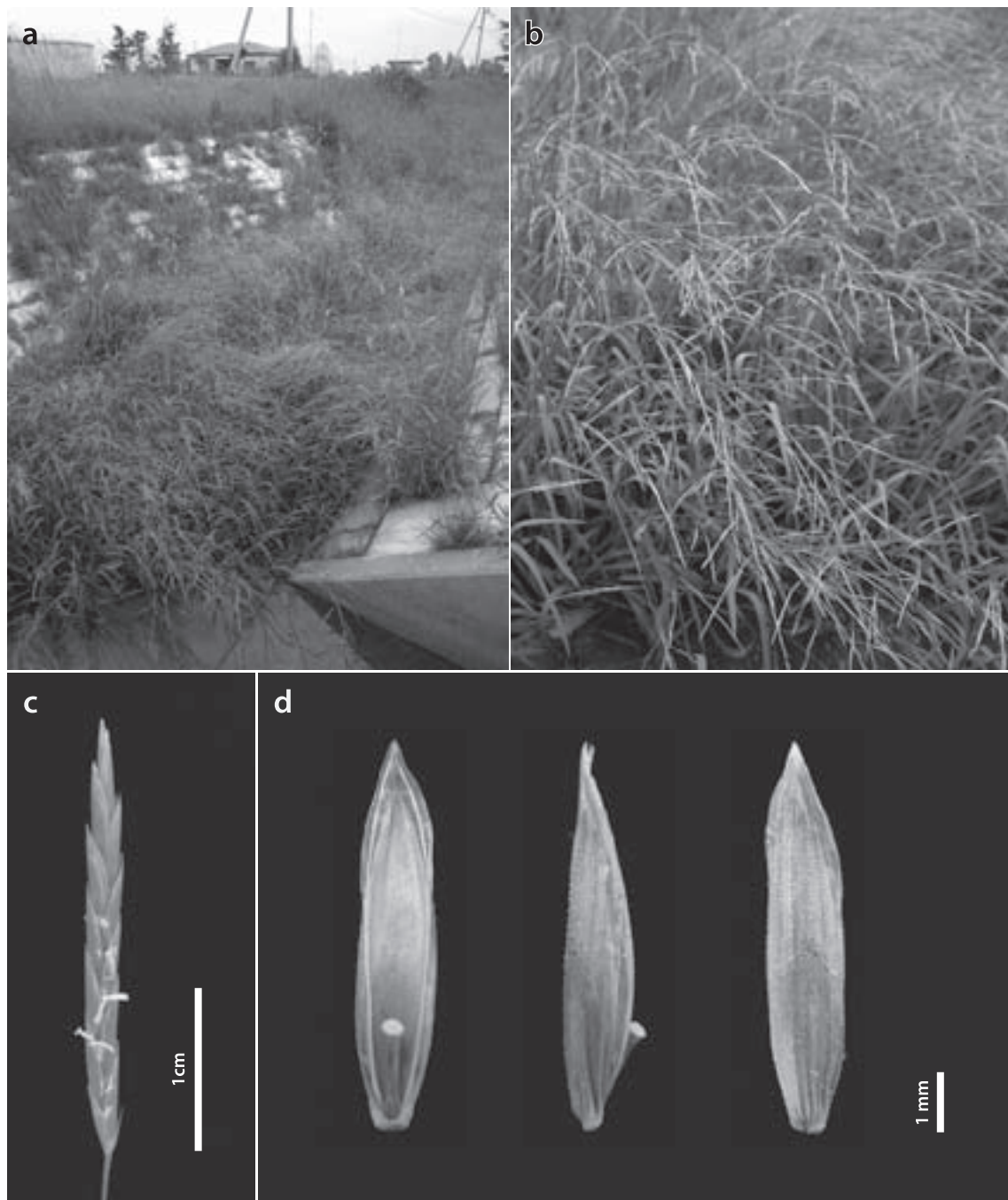


Fig. *Glyceria fluitans* (L.) R. Br. **a:** habit, **b:** flowers, **c:** spikelet (a–c: July 10, 2007, Shari, Hokkaido). **d:** floret, ventral (left), side (central), and dorsal view (right), SAPS 010596.